



ありし日の田中さん

当支部の常任顧問・元支部長であった田中富四郎さん（S25・国漢卒）が、昨年12月20日未明、脳内出血で突然亡くなられた。81歳だった。

田中さんは当支部の活動が停滞しており、校友会本部から何とかするように言われていた20年ほど前の平成元年12月に城東支部長に就任された。その後、最も活動的な支部となる平成12年6月まで4期11年半、支部長をされた。支部役員の活発な意見をうまく引き出し、全体をまとめ、常に皆の和を重んじて運営をされていた。

校友会本部の代議員を平成2年7月から実に13年8ヵ月、常任委員は平成3年5月から7年間就任し、特に後半は事業部長として、全国各支部の活動に大きく寄与された。また、大学の評議員、平成9年11月から3年間の就任期間は、大学の発展に大きく貢献された。

一方、地元墨田区文花では、町会長を平成14年6月から平成20年6月までの3期6年務められ、地域でもなくてはならない方だった。

通夜、告別式には田中さんの人柄を偲ばせるように、町内会をはじめ、仕事関係者、城東支部会員、甬水会会員など本当に多くの方が弔問に参列されていた。東洋大学理事長、校友会長、城東支部長、墨田区長など、多くの方々からの生花が田中さんの功績を偲ばせるものであった。

現役のまま世界された 田中先生を悼む

私が田中先生に初めてお目にかかったのは、20数年前に豊島区から江東区に引っ越し城東支部総会に初めて出席したときであった。石田千秋さんが支部長をしていた当時で向島百花園の御成座敷で開催されたときに、田中先生の隣に座らせて頂きいろいろお話を伺わせて頂いた。

当時私はまだ会計士として駆け出しのときであり、経営コンサルタントをされていた田中先生のお話は興味深いものばかりであった。その時の縁で田中先生としばらくの間一緒にお仕事をさせて頂くようになった。クライアントと一緒に邪魔した時、また事務所内でのミーティング、夜の飲み会でも常にこやかであり、非常におおらかな先生であり、お客様の社長から絶大な信頼を得ていた。支部活動でも何かとお世話になったが、とりわけ仕事面では多くの事を教えて頂き、心より感謝している。

昨年の12月20日土曜日に田中先生の事務所から電話があり、19日金曜日の昼過ぎに気分が悪くなり、墨東病院で診てもらった結果、脳内出血で手術も難しい状況で、夜半過ぎに突然亡くなられたとのこと。亡くられる1週間ほど前にお客様の忘年会では、いつものようにお元気で特段変わったところもなく、次世代の経営者に経営の基本的なお話を分り易く教えられていたことが思い出され、現役のまま世界されたように思う。

田中先生はご多忙にも拘わらず、歩こう会、ミニ旅行、甬水会主催の文学散歩などほとんどの行事に参加され、笑い声が

絶えなかったが、もう聞けないと思うと残念そのものである。

心よりご冥福をお祈りします。

武田勇蔵（S54・経営卒）

支部活動の充実、発展に 貢献された田中さん

昨年12月20日、私の前任支部長の田中さん急逝を電話で知らされた時、「エッどうして」思わず絶叫しました。前日昼過ぎ頃、脳内出血で倒れ、翌日未明に亡くなられたとのこと。全く信じられないことでした。何故ならば、その前日18日昼頃、田中さんから電話があり、結構長っ話をしたからです。その内容は「23日の葛飾白山会は用があって出られなくて申し訳ない。年内他に集まりないかねえ。なければ来年の集まりには必ず出るようにするからまた誘ってください」というもので、はずんだ声で、体調も良さそうな感じでしたので、その翌日に倒れられるなんて本当に信じられなかったのです。久しぶりの電話でしたので、今考えると、お別れのごあいさつだったのかも…。

田中さんとの付き合いは、平成元年12月の当支部総会で、支部役員が一新され、田中執行部が誕生してからで、丸20年になります。福永司氏、水谷有利氏、武藤晃司氏の各実力者と私の4人の副支部長が田中支部長を支える四天王と言われましたが、同8年までに実力者の3人が引越したとか、体調不良で相次いで退任、田中支部長と私との関係が必然的に深まり、そして同12年、私が後任の支部長に就任すると、田中さんは常任顧問として私の後見役でした。

その間、田中支部長のリーダーシップ

のもと、支部活性化対策として、会員名簿の整備、会報「城東エポック」の発行、甬水会支部との交流など新しい施策が次々と実行され、支部活動の充実に多大な貢献をされ、その多彩な支部活動は全国一と評されるまでに発展しました。

私は田中さんから「そんなの気にしなくていいよ」とか「そこまでしなくていいよ」とか、たしなめられることが度々あり、そのつど、物事に動じない姿勢や、温和で包容力のある器の大きさに感心させられました。そのやさしい眼差しと笑顔は忘れることが出来ません。

心からご冥福をお祈りいたします。

大滝恵三（S35・経済卒）

田中元支部長を偲んで

私が初めて校友会城東支部活動に参加したとき、支部長は田中さんでした。校友会について同窓生の仲良しクラブぐらいにしか考えていなかった私にとっては、支部長以下皆さんの大学に対する熱い思いの中での討論は、異様にも思えたものです。それでも、皆さんが互いを非難することなく、根気よくそれぞれの思いを語り合う中でことを決定していく穏やかさがありました。その要となっていっしょだったのが田中支部長でした。

私は今、城東支部の良さは、穏やかさにあると感じていますが、それは田中さんの性格がそのまま伝統的に受け継がれているのを感じます。会合に出席したとき、田中さんがいらっしゃるとうんとする思いでしたし、あの豪快な笑い声は、癒しになったと言っては失礼でしょうか。

私は同じ墨田区在住ということもあってか、田中支部長にはよくよく面倒をみて